

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、近藤新二議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。〔16番 近藤新二君登壇〕

○16番（近藤新二君）

創生クラブの近藤新二です。

初めに、2月23日に発生した島道の雪崩災害で亡くなられた能登さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

事前に提出した通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、糸魚川市の新型コロナウイルス感染症対策について。

昨年末からのオミクロン株による第6波の感染急拡大に対して、国や新潟県では対応が追いつかなくなったことなどから、「みなし陽性」、「感染者の濃厚接触者への連絡」、「濃厚接触者の家族」など市民の皆様にとって、分かりにくい対策で不安を感じており、現在の新型コロナウイルス感染症対策について、感染者や濃厚接触者のご家族から不満の声が多く聞かれています。

糸魚川市の現状と取組について、以下の項目を伺います。

- (1) 糸魚川市の感染状況について。
- (2) 糸魚川市の感染予防について。
- (3) 糸魚川市の感染症発生時の対応について。

2、地元就職とUIターン就職の推進について。

令和4年2月1日糸魚川市の総人口は4万456人で、昨年の令和3年4月1日から554人減少しています。

当市の人口ピラミッドを見ると、人口減少のスピードはさらに加速することが予想され、子供を産み育てる環境整備や移住定住施策など、人口を増やす取組を継続しつつ、新たに生じてくる課題に対しては、地域や企業、市民一人一人が目的意識を共有し、一体となって未来に向けた取組を着実に実行していく必要があります。

以前、市長は市政運営と主要施策の中で、未来を担う人づくりについて、地域における人材育成やビジネスにおける人材育成を継続するほか、市内企業の次世代を担う人材を集め、人口減少の現状や当市を取り巻く環境などを学び、将来に向けた取組を協議する場を設け、官民一体となって進めることが重要と話されていました。

近年どのような状況なのか、以下の項目について伺います。

- (1) 今年の市内新規就職者の予定数について。
- (2) ハローワーク糸魚川管内の現在の有効求人倍率について。
- (3) 中学生、高校生の市民アンケート結果の分析について。
- (4) 今後の取組と課題について。

3、空き家等の現状と利活用について。

人口減少を迎え、全国的に空き家が増加傾向になってきました。

総務省の2018年「住宅・土地統計調査」の集計によれば、全国の住宅総数約6,200万戸に対し、空き家は約840万戸と5年前の調査より約20万戸増加しております。

空き家は適切な管理がなされないまま放置され、敷地は庭木の枝が伸び放題となり、雑草が生い茂ります。その結果、蚊や蜂などの害虫が繁殖し、近隣住民に危害を与えることがあります。また、雑草の種が近隣に飛び散り、周辺地域では幾ら草取りをしても追いつかなくなるなど、空き家の増加に伴いトラブルも増加し、社会問題となっています。

このような状況の中、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする「空き家等対策特別措置法」が2015年5月に施行され、糸魚川市も「糸魚川市空き家等対策計画」を策定しました。

糸魚川市の現状と取組について、以下の項目を伺います。

- (1) 空き家の実態と「特定空き家」について。
- (2) 空き家所有者への適切な管理の指導について。
- (3) 空き家の活用促進について。
- (4) 空き地の実態と所有者へ適切な管理の指導について。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

近藤議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、2月末現在、308人の感染者が確認され、4つの集団感染が発生いたしております。

2点目につきましては、市民の皆様にも基本的な感染対策を徹底いただくとともに、3回目のワクチン接種に取り組んでおります。

3点目につきましては、新たに感染者が確認された場合、県が公表した内容を市民の皆様にお伝えいたしております。また、学校等施設の感染者が発生したときには、速やかに濃厚接触者の特定と施設の利用中止や、休校などの周知を行っております。

2番目の1点目につきましては、本年3月市内高等学校卒業予定者の就職希望者は89人で、うち53人が市内就職予定とお聞きしていたおります。

2点目につきましては、昨年12月時点で1.79倍であり、前年同月と比較して若干上昇いたしております。

3点目につきましては、第3次総合計画策定に関する市民アンケートでは、糸魚川に住み続ける、また戻ってくるための条件として、中学生・高校生ともに働きたい仕事があることを上位に選んでおり、仕事が大変重要な要素であると認識いたしております。

4点目につきましては、市内企業の情報不足が課題であり、子供や教育関係者、保護者、企業、地域などが一体となって取組を進める必要があると考えております。

3番目の1点目につきましては、令和2年度の実態調査では、空き家が802件であります。

現在、特定空き家等に認定しているものはございません。

2点目につきましては、適正な管理が行われず、周辺に影響を与えている空き家の所有者に対して、現地調査を行い、適正管理を依頼いたしております。

3点目につきましては、空き家改修費や家財道具処分費に対する補助制度などにより、空き家バンクへの登録を促進するなど、空き家の有効活用を図っております。

4点目につきましては、実態は把握しておりませんが、管理が行き届いていない空き地について、適正な管理を行うよう文書などで依頼をいたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

再質問の前に、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、糸魚川市の大切な命を守るために広くご尽力いただき、感謝申し上げます。

それでは、2回目の再質問に移ります。

（1）糸魚川市の感染状況について。

新型コロナウイルス感染者の入院者数、また、自宅療養者数、隔離施設への治療者数の状況について、糸魚川市は把握されているでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今お尋ねのあった人数につきましては、個々の市町村ごとというのは、公表されておられません。

ただ、2月21日現在、全県の数字についてはありますので、ご説明させていただきます。

入院中の方175名、宿泊療養者の方40名、自宅療養の方3,790名ということであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

オミクロン株の変異で、急激な感染拡大により、医療機関への逼迫が懸念される中で、入院が限定されると聞いていますが、入院や療養先を決めるのは、保健所なのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

入院や療養の調整につきましては、保健所の情報に基づき、県の本庁にあります医療調整本部で行っております。それを保健所から、該当者の方に連絡しておるといふふうに伺っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

入院が限定されるのであれば、陽性となった場合は、小さい子供やお年寄りがいる方は、自宅療養では感染が心配されると思います。隔離施設への入所は可能なのか、その場合は保健所が決定するのか、また、市内にそのような施設はあるのか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、県内にあります病床の使用率については約27%ということで、入院が必要な方は、今現在は入院できる状況だというふうに考えております。

多くの方が軽症、あるいは無症状ということで、自宅療養が中心だと伺っておりますけども、お年寄りがおられる家庭、あるいは基礎疾患のある方、こういう方については、状況によっては宿泊療養をお願いしておるというふうにお聞きしております。その施設については、当上越地域、妙高市にありまして、当市にはありません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

私の情報によりますと、今年の1月に妙高市のホテルに入所した糸魚川市民がいると聞いておりますが、糸魚川市民の方々は、遠くへ行かず、糸魚川市内の隔離施設を要望されている声がありますが、今後、糸魚川市内の隔離施設を設ける考えはあるか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

宿泊療養施設につきましては、県が設置するものでありますので、今ほど要望があった市内にも設置してほしいという要望が市民にあるということについては、県にお伝えして、働きかけをしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

ぜひとも市内にもそういった施設を設けるよう、強く要望します。

(2)の糸魚川市の感染予防についてなんですが、感染予防と重症者予防にワクチンが期待されています。3回目のワクチン接種に、糸魚川市のホームページでは、ワクチンの供給量及び医療機

関への受入れ数に合わせて接種券を郵送と記載されています。接種券待ちの方が多くおられますが、少しでも早く前倒しで発送し、接種すべきと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

前倒しにつきましては、国の方針もありまして、1月31日から順次前倒しをして、接種券をお送りしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

昨年の初回のワクチン接種では、予約がかなり混雑したと聞いておりますが、今回の3回目の予約状況は、いかがでしょうか。

また、3回目の接種率は、全国と比べて低いのか高いのか。また、接種率を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

まず、予約状況ですけれども、本日、集団接種の予約を9時から開始しました。午前中の状況ですと、電話がかかりにくい状況というのが、時間で言えばあったということで、一、二回目とある意味同じような状況はあるということでもあります。

それから、もう一回お願いします。

〔「3回目の接種はどれぐらい」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

3回目の接種ということでもありますけれども、接種率につきましては、2月28日現在です、接種率は14.1%、接種回数は5,129ということで、5,000人を超える方が受けられたということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

その接種率なんですが、全国的に何か低いような報道がなされてますが、糸魚川市も低いのか高いのか、今の状況での判断はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

接種率の全国的な数字ということでありまして、全国水準よりは低い状況であります。2月21日の全国の接種状況であります、全国が14.4%であります。

一方で、新潟より北海道まで、特に日本海側を中心にこの数字より低い状況があるということでもありますので、2月に関しては積雪等もあって、そういった気象状況が接種率を押し上げるのには、ちょっと阻害要因になったかなというように感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

国では、11歳以下のワクチン接種が具体化してきています。一部報道によりますと、子供の接種にちょっと困惑している医療機関があると聞いてますが、糸魚川市では3月末から予定されてますが、予定どおり行われるかどうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

糸魚川市の3月末からの接種体制でありますけれども、小児科医を中心に開く一方で、病院で、土曜、日曜の接種等をやっていききたいということでもあります。

今ご指摘のちゅうちょされてるといふ医療機関もいるということで、3月3日の日にその研修会等も開くような中で、医療体制、小児接種に向けた取組を進めてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

小さい子供は、大人と比べ、かなり注射に対して痛い、また痛点多いということでもありますから、そういった心遣いをぜひしていただけたらと思います。

（3）番目に移ります。糸魚川市の感染症発生時の対応について。

今回、市内での感染拡大は、小学校、保育園での感染拡大により児童・園児の家族に拡散してしまったとの市民の声があります。子供が感染すると、両親、祖父母なども濃厚接触者として勤務できないことで、多くの職場に負担をかけることとなります。また、世話をするために家族に感染のリスクがあります。

したがって、感染が拡大しないよう初期対応が大変重要と考えます。糸魚川市教育委員会では、

どのように対応されたのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

園・学校が休園・休校することで、保護者の方にはご負担をかけているというふうに思っています。園児・児童、また職員に感染が確認された場合には、陽性になった方の登校・登園状況にもよりま  
すけれども、感染拡大を防止するために速やかに園児・児童を帰宅させて、休園・休校の必要性を  
判断して、保護者にお知らせしております。

また、保健所と相談の上、濃厚接触者を特定して、併せて保護者にお知らせしているところであ  
ります。

また、園児・児童の帰宅後、施設内の消毒も実施しているというところでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

大和川保育園では、同じクラスの子を濃厚接触者としましたが、糸魚川小学校では、同じクラス  
の子で濃厚接触者はいなかったと聞いておりますが、このとおりでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

議員おっしゃるとおりであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

濃厚接触者の判断は、保健所だと思っておりますが、大和川保育園と糸魚川小学校の対処の違いは、  
何だったのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、大和川保育園においては濃厚接触者を特定いたしました。糸魚川小学校  
については、濃厚接触者のほうを特定いたしませんでした。これはそれぞれ園、学校の児童等の生  
活の状況、活動の様子を判断しまして、保健所のほうと相談、あるいは指導を受けながら教育委員  
会のほうも、その相談の中に乗りまして、判断しているところでもあります。

保育園のほうは、どちらかという活動状況が密接になりがちでありますし、マスクのほうについても必ずしも強制して着用というふうな形になっておりません。

また、学校のほうについては、一定の距離感を取りながらマスクを着用した上で整然とということでしょうか、学習を行っているというふうなことで、濃厚接触者を特定するに至らないというふうなことで、今回判断させていただいたということでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

私も孫が保育園と小学校にいるもんですから、孫の送り迎えをするときは、マスクをするんですが、園内に入るとやっぱり園児はマスクしてませんね。そういったやっぱりしづらいというところが、保育園では見られます。

糸魚川小学校で、児童の濃厚接触者がいないことに小学校教育委員会は納得したのか。最初のクラスの児童を濃厚接触者として検査をするなど、慎重な対応をすれば、今回の拡大は防げたのではないかと思います、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

確かに糸魚川小学校のほうでは、感染した児童の行動履歴等から、濃厚接触者は特定しないことといたしました。結果的に、その後、何人かの感染が出ております。今回の場合、感染の状況を見ますと、座席の近さとか、あるいは密接の度合いといったものの、濃厚接触の判断基準に関係なく、感染者が出ていると捉えております。

そのようなことで、今回、濃厚接触者に特定、あるいは特定しなかったからといって、感染者が出てしまったということでもあります。いずれにしても初期対応に重点を置いて、できるだけ早く休校にして、そして、子供たちを自宅に待機してもらうというふうな措置を取ったわけですが、結果的には感染者が何人か出てしまったというふうなことで、そのところは今後、反省しながら次回の対応に役立てていきたいというふうに思っております。

なお、新しい対応方針では、濃厚接触者の特定につきましては、学校、それから、その濃厚接触者の扱いについては、自宅において7日間程度待機するということで、PCR検査の対象とはなっておりませんということでもあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

それでは、大和川保育園のコロナ対策について伺いたいんですが、ある人から聞いたんですが、この職員の最初の方の行動が、ちょっと問題があったのではないかとということが耳に入ってきました



た。

そこで、職員の健康管理はどのように行っていたか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

このたび職員の複数、職員の感染によって保護者の方にはご迷惑をおかけしたというふうに思っています。

職員の健康管理につきましては、出勤前の検温は当然なんですけれども、当然、体調がすぐれないときは、出勤を取りやめるということを指示しておりますけれども、行動というところ、ちょっと私、すみません、承知はしてないところなんです、聞くところによると自覚症状はなく、出勤をしていたということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

その職員の感染が判明した後、ほかの職員も検査されたのか、その検査は市で行ったのか、個別に行ったのか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

市では、検査をしておりません。先ほど複数と申し上げましたが、職員については、症状が出て、受診の結果、陽性が判明したというものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

また同じ質問なんです、その職員が判明した後、ほかの職員の検査はどうだったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

ほかの職員につきましても、市では検査をしておりません。濃厚接触者として特定した職員については、先ほどこども教育課長が答弁したとおり、一定期間自宅という待機期間がございますし、ただ、エッセンシャルワーカーとして、その待機期間が短くなるということで、そのときは待機期間終了前にしっかり2日間検査をして、職場に復帰できるというもので、今回は、ほかの職員については、市では検査をしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

大和川保育園で、同じクラスの園児を濃厚接触者としたのは適切だと思います。園児・児童が陰性であれば、両親は勤務が可能ではないか。また、兄弟も学校、保育園の登校・登園は、できないのか。いずれにしても安心面から、職員と同様に市で検査をするべきと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

園児が濃厚接触者に特定されても、基本的には、そのご家族というのは、出勤なり登園・登校は可能だというふうに認識しています。検査については、濃厚接触者である園児の家族となると、非常に数も多くなり、市で検査を行うというということは、現在段階では非常に厳しいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

私も、1月24日、25日のはざまに、孫が濃厚接触者ということで、私もいろいろなところに聞いていたんですが、やっぱり対策が変わったということで、検査をするところが、上越まで行かないといけないよということが、そのとき分かりまして、私も1週間、孫と一緒に自宅で待機をしたんですが、少しちょっとストレスもたまったのかなと思ってます。

次に、福祉事務所に伺います。

高齢者、障害者施設における集団感染を防止するためにどのような取組がなされているか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

福祉施設では、これまででも、持ち込まない、持ち出さない、広げないの三つを基本といたしまして、感染症リスクがある中、対策を講じながら各種サービスを提供いただいていたところであります。

また現在、新潟県に、まん延防止等重点措置が適用されていることから、県におきまして、集中的検査計画に基づきまして、各施設に一定数の抗原検査キットが配付されているほか、職員の感染疑い等の発生時には、随時、検査キットが調達できる体制が取られるなど、対応を取っていただい

てるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

幸いにも、福祉施設での感染が聞かれないんですが、もし感染者が発生した場合、市はどのような対応をされるか、今は検査キット等あると言いましたが、それなりの指針がしっかり策定されているのかどうか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

検査キットの提供等につきましては、県の制度ということで、一定程度施設のほうでは保管されているというふうには伺っているところでございます。

また、市のほうでは、介護や障害といたしました福祉施設からの発生の連絡を受けまして、サービス提供ができるかどうか、また、拡大のおそれがあるかどうかの確認を行うほうほか、マスクやアルコールといったような衛生用品の充足状況の確認、また、県のほうの制度で、介護従事者の応援制度といったものもでございます。そういったものなどの紹介を行っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

高齢者、障害者福祉施設の職員の家族が陽性または濃厚接触者となった場合、どのように対応をされているか。また、職員が自宅待機となることで、施設の運営に支障が生じていないか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

介護従事者である職員の方の家族が陽性だった場合には、濃厚接触者といたしまして、7日間、自宅待機となりますが、福祉施設従事者の場合には、県が定めます社会機能維持者といたしまして、抗原検査による2回の検査で陰性であれば、5日間に短縮できます。

また、従事者の家族が濃厚接触者となった場合につきましては、検査結果が出るまでの間は、従事者は、施設側の判断で自宅待機される例が多い状況であれば、陰性であれば、その時点で職場に復帰することが可能となっております。

いずれにいたしましても、少なからず施設の運営には、影響は出ておられますが、各事業所におかれまして、早めの対応を取っていただいております、ほかの職員によります勤務シフトの調整など、サービスを維持・継続いただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

そういった施設、大変苦労されてるということが、今の所長の答弁からも伺えたと思います。

新型コロナウイルスの検査について、糸魚川市内の無料検査所は、先ほども申されたようにカワセミ薬局のみで、内容は、抗原検査となります。また、曜日と人数が2人ということで、限られています。PCR検査の無料検査所は、上越市まで行かないとありませんが、検査について、市民からの意見や要望は、なかったでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

市民からの問合せは、数多くあります。糸魚川市内で検査できるのが、今説明のあったカワセミ薬局のみで、上越市の新型コロナウイルス検査センター上越会場を今のところは、ご案内しております。

市民からは、やはり身近なところで検査を受けたいという旨のお話がありますので、先ほども説明させていただきましたが、設置主体である県のほうには要望もしておりますし、薬剤師会に対しても要望してまいりましたが、まだ実現しておりません。引き続き、これについては働きかけを行ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

もう一つ伺いたいんですが、市内で有料の場所が、安藤医院と、なかむらこどもクリニックということで、これは有料だよということなんですが、子供場合、私も経験したんですが、孫が風邪ぎみだったもので、なかむらこどもクリニックを受診したところ、そこでPCR検査をしていただいた。それで子供なんで、たしか1回530円か540円なんですよね、ということでもかなり有料といっても安価なんですよね。これは市が負担している部分だと思うんですが、安藤医院の場合の費用となったら、どれぐらいかかるかご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、正確な数字、手元に資料がなくて恐縮なんですけど、2万円程度の費用がかかる、大人については2万円程度の費用がかかるというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

その2万円は、保険が適用されるのか、適用されないのか。保険が適用されるとしたら3割負担だったら6,000円なのかなという、どちらでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

症状が出て、受診をされた場合は、保険適用になります。

ただ、感染しておるか、陽性かどうか確認したいという検査については、保険適用の除外になりますので、そのまんま負担いただくということになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

その方が風邪ぎみだよということであれば、保険適用になるのかなという理解で申しました。

上越市では、コロナ感染拡大に対して、土曜日でも相談できる健康相談コールセンターを設置しましたが、糸魚川市でも子供たちの感染が収まるまで、相談コールセンターを設置してはいかがでしょうか。

また、市のホームページで新型コロナウイルス感染症対策に関する、感染者、濃厚接触者、その家族の行動指針等を分かりやすく検索できるよう更新を考えてるか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

休日を含めて、市民からの問合せについては、糸魚川市コールセンターを設置しておりませんが、保健所で対応できる体制となっております。また、市へ問合せがあった場合については、保健所と連携しながら丁寧な対応に努めておるところであります。

また、市のホームページについても、もっと見やすくというようなお話がありましたので、再度、より見やすいもの、あるいは使いやすいものになるよう、点検して、必要なところについては、直していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

私もホームページいろいろ探すんですが、本当にいろいろあり過ぎて、どこをクリックしていいのか迷いました。そういったことを一つ一つ対応して、改善してほしいなと思ってます。

それでは、次に2番目、地元就職のUIターン就職の推進について、再質問させていただきます。

(1)の今年の市内新規就職者の予定数について、先ほど市内では53人、市外には36人ということで、新規就職者数は、目標に対してどのように推移しているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

第3次総合計画におきましては、新規高等学校等卒業生の就職希望者のうち、市内就職率の目標につきましては、55%としております。これは目標年度の令和10年度においても、計画策定時、直近5か年の平均以上を維持する数値として設定しておるものであります。令和元年度、令和2年度とも48%でありましたが、今年度は、目標値を上回る59.6%を見込んでいるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

先ほどは、高校生の新規就職者数とお答えいただきました。

次に、UIターンの就職者数について、把握はされているでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

大学ですとか専門学校等の卒業予定者の市内就職予定者の数につきましては、データがなく、把握できておりませんが、毎年、新規学卒者激励会、がんばれニューフェイスに参加されてる方の数につきましては、高校生を含めて90人から100人程度となっておりますので、UIターン者につきましては、50人前後であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

そのホテルでやる催しですよ。あそこには、ほぼ出てると思うんですが、全部が全部出ているとは限らないので、そういった数字は、やっぱりはっきりつかんでおくべきかなと思います。

次に、第2次糸魚川市総合計画の就職支援の強化では、地元就職、UIターンの促進で、市内企業に対する理解を深め、地元就職者の増加を促すために市内企業の協力により、就職ガイダンスの開催、児童生徒、その家族を対象とした企業見学会の実施など、様々な取組をされていますが、例年ではできたことが、このコロナ禍でできなかった事業はありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市が主催する取組としましては、学生ですとか保護者、どなたでも参加できる企業見学バスツアーがございます。これにつきましては、令和元年度から実施を見送っております。

また、企業説明会、就活フェアと言ってるんですけど、これにつきましても対面での実施が難しいこと、また最近、デジタル化の進捗もございますので、オンライン形式での形に方法を切り替えて、実施しているところでございます。

また、昨年度につきましては、がんばれニューフェイスについても中止しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

私もサラリーマン時代、学生たちの職場見学について、某紡績業の工場に案内を幾度かしました。そのときの学生の目の色はきらきらとして、かなり期待を持ったことが思い出されます。

次に、（2）ハローワーク糸魚川管内の現在の有効求人倍率について、先ほど1.79ということでしたが、コロナ前とコロナ禍での比較は、どのように推移しているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

令和2年度は、コロナ禍前の令和元年度に比べて若干、有効求人倍率が下がっておりますけども、ハローワーク糸魚川からは、数値は例年並みで、大きな変動要因はないものとお聞きしております。今年度につきましても、12月現在までの平均で1.78倍と高い水準で推移している状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

本市の有効求人倍率は、高い水準で推移しているものと、先ほどお答えいただきましたが、賃金や労働時間等の労働条件は、全国水準に比べ、どのような状況か伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

統計資料を見ますと、賃金につきましては、新潟県は、全国平均と比べて給与や所得が低い状況であります。県内1人当たりの市町村民所得につきましても、当市は県平均として低い状況であります。

また、労働条件につきましては、市町村別のデータがありませんので、新潟県と比較してみた場合につきましても、これにつきましては、全国平均と比較して多い状況でございます。

このようなことから、総じて労働条件は、全国平均よりも厳しい状況であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

近年、求人票を見る際は、休日や福利厚生を優先する傾向にあると言われてますが、やはり給料も当然、判断すべき材料の一つと考えられています。市の考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

大手の民間調査機関の資料によりますと、近年は、学生の就職先の決定の理由につきましては、自らの成長が期待できるですとか、会社や業界の安定性があることが上位となっております。このほかにも、福利厚生ですとか、希望地域での就職とか、様々な要因が見られますが、年収だけを求める傾向ではないものと思っておりますが、給与につきましても、重要な一つの要素であると思っております。

これにつきましては、市内企業の売上げを上げたり、労働生産性を高めたりということが必要であるというふうに考えられますので、引き続き企業の皆様の取組を支援して、バックアップをしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

昨今、企業は正規雇用よりも非正規雇用を求める傾向があることから、雇用調整に対応した雇用対策と幅広い就業支援の強化が求められています。また、女性の地元就職も、男性と比べ低いと思いますので、女性の就業に当たっては、ワーク・ライフ・バランスの取れた、職場環境の整備や雇用の質の向上が求められると思いますが、市としての考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

議員ご指摘のとおりであると思っております。国では、若者の採用育成に積極的で、雇用環境の状況が優良な中小企業につきましては、ユースエール認定企業という制度も設けておまして、県内で19社が認定されておまして、この中には、当市の建設業も2社、入っております。こういった取組が見える化することによりまして、市内の企業の横展開を図っていくことが必要であるというふうに思っております。

また、先ほど言われました女性の活躍の取組「えるぼし」ですとか、子育てサポート企業「くる



みん」なども認定制度もございますので、そういうものを含めて見える化する中で、いかに企業の情報を学生なりUターン者含めて、届けていくことが重要であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

続きまして、（3）の中学生、高校生の市民アンケート結果の分析について、地元就職などの質問の結果が、前回と比較して、どのような傾向だったのか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

アンケート調査の傾向でございますけども、高校生は今回から調査対象になりましたので、中学生の比較になりますけども、将来も糸魚川に住み続けたいかという設問につきましては、今回は32.3%が住み続けたいと回答しております。前回の平成27年度からは7.1ポイント減少しておりますけども、それ以前の調査、平成22年度、平成17年度の調査よりは、改善している状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

市内高校生と連携したカリキュラムの策定により、キャリア教育の充実を図るとともに、先輩との座談会等の開催により、地元就職を促進する取組が大切だと思います。地元就職に向け、今以上に中学生、高校生の意識を向上させる取組が必要だと思いますが、市の考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

中学・高校生の意識をさらに向上するというご質問ですけれども、中学生については、3年生におきまして、3年生が一堂に会しまして、地域で活躍する大人と対話することによって、自分の未来、地域の未来を考える機会にしてもらうためにキャリア教育フェスティバルを昨年度から実施しています。それを継続していくことだと思っておりますし、また、高校においては、今各3高校において、地域と協働して、探求的な学びが徐々に展開され始めておりまして、その様子を広報等でもお知らせしているところであります。来年度につきましては、その学びをより加速させたいということで、当初予算に地域とのつなぎ役のコーディネーターの配置の予算も計上しているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

続きまして、（4）の今後の取組と課題についてなんですが、どのようにこの辺をお考えか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

先ほど申しあげました就活フェア等につきましても、オンラインが当たり前になってきておりますので、市内企業全体のデジタルへのシフトは必要であると考えております。

また、自社のホームページですとか、企業紹介のパンフレット等につきましても、分かりやすくするということが重要であるということから、発信力ですとかマーケティングの強化も必要であるというふうに考えております。

糸魚川商工会議所におきましても、これらに対応するために発信力育成セミナーを開催されておりますので、また自社の魅力ですとか、求職者の欲しい情報をうまく伝えるために市内の企業の皆さんも新たな展開がされてるものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

進学率も上がり、一旦地元を離れますと、地元就職の意識が薄れないか心配になりますが、大学生や専門学校に行かれた進学中的の方々へのフォローは、どのようにされているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

昨年、令和2年、3年になりますが、コロナ禍という形で学生の皆さんも非常に苦しい思いをされたと思います。そういった中で市内の糸魚川市の出身の大学生を応援しようということで、糸魚川市の特産品を送って元気づけようと、こういった事業を行いました。そういったつながりを生かそうということで、今でもそういったつながりは持っておりまして、年で6回ほどになりますが、就職活動への情報提供ですとかイベント、それと昨年も放映されました「ブラタモリ」、やはり糸魚川にとっては非常に発信する力が強いということで、こういった番組の放映がありますよという身近な情報を、つながりながら何とか糸魚川へ目を向けてもらおうと、そういった取組をしながら、Uターンの機運醸成という形でつなげていっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

大変いい事業だと思います。これについて、漏れがないように取り組んでほしいなと思います。

学校でのキャリア教育、企業やハローワークの職業紹介も地元就職への重要な取組の一つと思いますが、家族や友人からの意見や助言が、大きいと感じます。中でも親御さんの、どのように考えてるかというのが、大変重要だと思うんですね。次男坊だったら、うちを出るもんだ。女の子はといった昔気質の考えが、まだ残ってるように思われます。この親御さんへの取組について、どう考えてるか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

保護者への働きかけ、働きかけというか保護者の意識を変えていくというか、そういったところは非常に重要だと思っております。

当初、先ほど私答弁しましたキャリア教育フェスティバルを保護者にも観覧してもらって、自宅へ帰って、親子で糸魚川のことについて一緒に話し合うきっかけになればというふうに思っていたんですが、新型コロナの関係で、それが実現できていないということです。時期が来れば、保護者にも観覧いただいて、ぜひ親子で話し合うきっかけづくりを進めていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

1人でも多くの地元の就職できるよう、今後の取組について期待しております。

続きまして、空き家等の現状と利活用について、再質問させていただきます。

（1）空き家等の実態と特定空き家について、過去調査した結果と現在の調査では、どのように推移しているのでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

空き家の実態調査につきましては、5年に一度行っているところであり、前回調査、平成27年度になります。このときに空き家の数につきましては、600件ということで、現状202件増加しているということ、また、特定空き家相当というものにつきましては、前回に比べまして125件ということで増えているというような状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

空き家が発生する最も一般的な原因は、自宅を所有する高齢者が、老人ホームなどの高齢者住宅や子供宅などに転居することで、今後、団塊の世代を含めた高齢者が急激に増えていきます。それに伴い、空き家もどんどん増えていきますし、特に駅から遠い利便性のよくない地域にある住宅街では、空き家が一気に増加することが予想されます。空き家所有者自身が、空き家の管理や活用について問題を抱えていることから、市の相談窓口はどこなのか、また、公表しているのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

空き家の窓口ということでございます。市の相談窓口としましては、空き家のうちの特に管理不全のところにつきましては、環境生活課が担っております。また、UIターン等を絡めまして、空き家を利活用するということでは、企画定住課が担っているという状況であります。

公表につきましては、ホームページや、おしらせばん、またそれに関連した補助金等を周知するときに課名等々を明確にしておりますので、そういった形での公表ということで行っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

危険空き家除去支援補助金について、周知はどのようにされているか。また、相談件数はどの程度あったのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

空き家の支援補助金の周知につきましては、市のホームページ、また、先ほど申し上げましたが、おしらせばんというものに掲載しているほか、適正な空き家管理をお願いする依頼文書を発送しております。そういった文書を発送するときに、その補助金の存在、制度があるということで周知に努めているというところでございます。

また、相談件数につきましては、令和元年では32件、2年度で31件、3年度、現時点になりますけれども44件というような状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

(2) の空き家所有者への適切な管理の指導について伺います。

適切に管理していない建物が引き起こす問題は、老朽化による倒壊、背景の悪化、放火による火災、雪の重みによる倒壊や落雪などが上げられ、どれも近隣住民に深刻な被害をもたらす可能性があります。持ち主への管理依頼は、どのように行っているか。また、指導、勧告、命令は、どのように推移しているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

議員のおっしゃいますとおり、今、豪雪等の関係もあって、空き家が傷むというところも起きております。そういった状況の中で、私どもとしましては、現在、税の通知書を出すときに、空き家の適正管理というところを市民課と連携して、出しているというところのほかに、先ほどもお話ありましたとおり、施設へ入所される時、またその当事者がお亡くなりになったときなどは、遺族の方、また、関係者の方々に「おうちのあれこれ」という冊子を配付させていただいて、空き家にならないような管理をお願いしているというところでございます。

また、いわゆる指導勧告命令につきましては、特定空き家等ということの指定がすることになります。その関係につきましては、これまで特定空き家等に認定したのは4件ということであり、それに対しまして、所有者が確知できない、いわゆる所有者がいないということにつきましては、指導勧告は行っていないということになります。

そういった状況の中で、これまでの件数としましては、指導3件、勧告2件、命令1件という手続を踏みまして、最終的には行政代執行であったり、その方々、個人での除却というような対応も取っていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

(4) の空き地の実態と所有者の適切な管理の指導について伺います。

空き家や空き地、所有者に草刈りを相談された場合は、どのように対応しているのか。また、紹介する業者はあるのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

空き家の紹介につきましては、令和2年度で実績として17件、今年度も15件ほどお問合せがあります。そういったところにつきましては、その土地を訪ねて、その所有者が分かれば、その通知をしますし、例えば分からないということになれば法務局のほうへ行って、所有者を調べて連絡するという状況であります。

草刈りの、実際、相談で困ったというところにつきましては、なかなか個人の財産のところをやるのはどうするかというところもありますけども、そういったところ、なかなか難しい面がありますけども、それにしても業者的には、大きな草刈りでいえば、シルバー人材センターさんや一部建設業者さんも担っていただいているという情報であったり、また、蜂の巣というところがありますので、蜂の巣であったり、また、小動物の撤去などにつきましては、こちらのほうで持っている情報をその都度お伝えしているというような状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

空き家と空き地の管理に対しては、各地域で大変苦勞しております。苦情相談をどのように今後、対処するか、糸魚川市の考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

空き家、併せて空き地の問題については、大変難しい問題だというふうに承知しております。先ほども少し申し上げましたけども、いずれも、いわゆる第一義的には、所有者が管理責任があるという状況であります。その中で、現在、私どものほうでは、いろいろ周り近所の方、また本人含めてになりますけども、今後、予定しているのは、弁護士による空き家の勉強会、法律、どういったものが対応できるのか、そういった法律の基礎的な知識をみんなで学んでいこうというものを、まず計画しております。そのところから、今後どうやって進めていくかというお話になると思っておりますけども。

あと今後、私どものほうとしましても、そのほかには、他市でどのようにこういう空き地・空き家の対応をしているものがあるか、そういったものもしっかりと調査研究して行って、それが導入できるということになれば、そういったところも含めて、検討していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

近藤議員。

○16番（近藤新二君）

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、近藤議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。